

# 市政を問う

## 一般質問

議員の

Q &

市の

A

### 質問者（質問順）

小澤 彰一	山口 恵子	古畑 秀夫	村田 茂之	平間 正治
-------	-------	-------	-------	-------



一般質問は、議員個人が市政全般に関わるさまざまなテーマについて市の方針や市長の考え等を問いただく場です。  
平成28年12月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。

※本文は質問者自身の原稿によるものです

## 市民の暮らしを守る

◆東山地区管理型最終処分場  
問題調査報告書について

**問** 11月、調査委員会は報告書をまとめ、4万人を超える反対署名とともに県環境部へ提出し、計画案が出された場合認可しないことを求めた。報告書をどのようにとらえているか。

**答** 専門的、学術的見地から執筆されており、関係者の尽力に敬意を表する。事業者側が明確な根拠を示さず、住民側への説明が十分になされていないことにより、住民に不安を与え信頼感が希薄になっている。事業者に対し、適切な対応を図るよう求めていきたい。田川水系下流域の水質調査では今のところ大きな変化はないが、今後継続し安全の確保を図っていきたい。

◆高齢者の生活不安について  
**問** 介護保険料増、医療費負担増、年金減によって、高齢者及びその家族の経済的負担が大きくなる。高齢者の貧困の状態をどのように把握して

いるか。

**答** 本市の生活保護世帯の約45%が高齢者世帯、うち約87%が単身世帯で、増加傾向にある。若い世代の国民年金納付率が低い傾向にあり、将来無年金、低年金者が増え、生活保護に頼る高齢者が増えることが推測される。国が社会保障全体の改革への対策を講じる必要がある。

◆その他の質問事項  
伝統産業について、漆器、そば切り、日本酒などについて質問した。



そば打ちを習う



小澤 彰一  
(日本共産党)